

平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	まちづくり課企画情報グループ
作成年月日：平成28年9月2日		

施策名	①広域行政の推進 1-3-①
-----	----------------

1. 施策の現状分析及び展開方向

政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	1. 町民協働に支えられる自立したまちづくり	(3) 地域と地域のつながりを強める広域行政の推進	①広域行政の推進

①施策のねらいと展開方向	●既存の一部事務組合等のほかに、複数市町との広域的な連携による新たなサービスや事務処理体制のあり方などを検討し、効率的な広域行政の推進を図ります。
--------------	---

②施策の現状と課題	現 状	課 題
	<ul style="list-style-type: none"> ●上水道・火葬場・ゴミ処理・消防は、一部事務組合を組織し共同処理しています。 ●し尿は、組織している一部事務組合を平成27年度に解散することになっています。 ●可燃ゴミは、2市4町（千歳市・北広島市・栗山町・長沼町・由仁町・南幌町）の協議会により、平成26年度に一部事務組合を設立するため準備を進めています。 ●平成3年より南空知の全市町で、南空知ふるさと市町村圏組合を組織し共同で施策や事業を実施しています。また、平成24年度に南空知災害時相互応援に関する協定を締結しています。 ●平成11年より南空知南部介護認定審査会（由仁町・栗山町・南幌町）を共同設置しています。 ●平成18年より南空知南部障害認定審査会（夕張市・由仁町・栗山町・南幌町）を共同設置しています。 ●後期高齢者の医療事務を共同処理するため、北海道後期高齢者医療広域連合が設立されています。 ●平成23年度より南空知4町（栗山町・長沼町・由仁町・南幌町）で、事務事業の広域連携を探るため、広域連携検討会議を設置しています。 ●社会経済環境の変化に伴う新たな業務の発生や多様化する住民ニーズへの対応など、厳しい財政運営の中、単独で取り組むことが困難な状況にあります。 ●消費生活相談業務は、4町（栗山町・長沼町・由仁町・南幌町）を含めた広域で消費者相談に対応するため、平成23年度より栗山消費者協会に委託しています。 ●有害鳥獣駆除業務は、1市4町（夕張市・栗山町・長沼町・由仁町・南幌町）及び関係機関・団体を含めた広域協議会として、南空知広域有害鳥獣被害防止対策協議会に平成25年度より加入しています。 	●住民の活動範囲の広域化と情報通信手段の急速な発達・普及に伴い多様化・高度化する住民ニーズと行政課題への的確な対応が求められています。

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

① 成果指標	設定の意図	まちづくりの成果指標名	数値化		
	施策を構成する唯一の事務事業で、平成27年度から南空知4町で取り組んでいる広域連携による知名度向上推進事業の成果指標である南空知4町の観光客入込数に設定する。	成果指標（総合計画・施策評価）		○	可能
				○	不可能
					未計測
		代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定
	観光客入込数（南空知4町計）		○	可能	
				不可能	
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。					

②指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26			
目 標		平成27年度より追加			1,876	1,895	南空知4町広域連携による知名度向上推進事業において、利用者が多い3月に新千歳空港を起点にしたTV番組制作、ポスター・パンフの作成・設置、航空機内誌への広告などを集中的に行うことで、効果的なPRができた。
実 績					1,857	1,907	
達成率	%					101.7	

評価視点	評価結果	理由・課題・問題点
③施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)	施策の達成度
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)	
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	A
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)	

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H27実績	H28予算	
1	【新規】南空知4町知名度向上推進事業	(1)	まちづくり課	観光客入込数(南空知4町計)	1,876	千人	南空知4町における地域資源を生かした各町による連携事業を展開する。	III	I	1 現状のまま継続	8,358	普通	
					1,907	千人					4,900		
2													
3													
4													

年度別施策全体の事業費合計(千円)

H27事業費 8,358

H28予算 4,900

②H28に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の妥当性	前年度と比較し、南空知4町全体の観光客入込数が増加している。また、平成27年度の知名度向上事業がベースとなり、平成28年度以降の観光振興事業、移住定住促進事業への展開につながった。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	A	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性	
			A						
			B						拡大
			C	1					○ 維持
			D						縮小